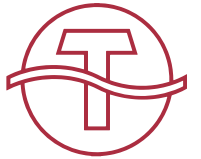


SCHOEPS
Mikrofone



SOLUTIONS
by SCHOEPS Mikrofone



CONCERT p. 4



FILM p. 6



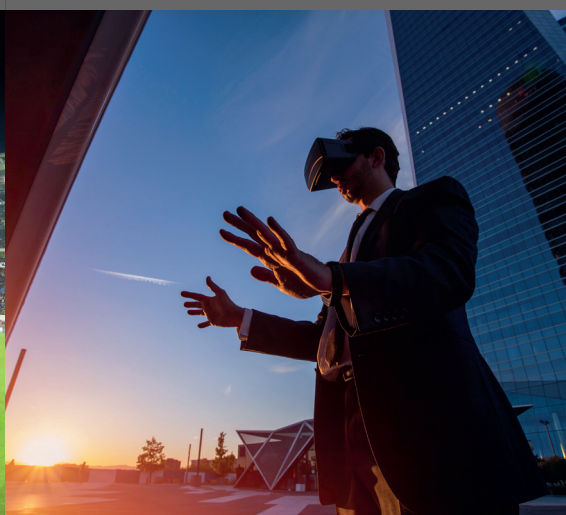
STUDIO p. 8



CONFERENCE, RADIO & TV p. 10



SPORTS p. 12



SURROUND & 3D p. 14

COLETTE p. 16

CCM p. 18

CMIT p. 19



コンサート(CONCERT)

エレガントなマイクロフォン配置こそ
SCHOEPSスタイル

ステージこそSCHOEPSが熟知する場所です。最高水準の音質を維持しながらも、視覚的な注目は、マイクロフォンではなくアーティストに注がれるべきです。**SCHOEPS Colette**および**CCM**シリーズとエレガントなマイクロフォンスタンドオプションが完璧なコンサートのお供として躍動するのはまさにこのような場所なのです。これらのマイクロフォンの音質および美的感覚は、多くのアーティストや聴衆に愛される業界標準として確立されています。

MK 4 カーディオイド・カプセルは、ライブ環境におけるサポート・マイクロフォンとしてすべての重要な基準を満たしています。**MK 4**は、全方向におけるリニアな周波数特性を持ち、音源の透明性を最大限に引き出す一方、周波数に関係なく安定した指向特性を持ち、室内の音響特性を自然に再現します。**MK 4**は、問題解決ツールとしての名声を得ています。全周波数帯域において指向特性が非常に安定しているため、指向角から外れた音も音色を変化させることなく、低いレベルで集音することができます。

サウンド・エンジニアの音質的な優先事項に応じたさまざまな要望に対する伝統的なカーディオイド・パターンに代わるものがこれまで多数出現して来ました。例えば、**MK 21**は、サブカーディオイド・カプセルで、後方やサイドからの音をより集音し、やや柔らかく、暖かい音に聞こえます。低周波数帯における特性は、無指向性カプセルに似ています。サブカーディオイド・カプセルは、とりわけステレオ・ペアとして人気があります。その指向性ゆえ（無指向性カプセルと対照的に）、左右の信号を区別することができ、さらに基本的なA/B配置のステレオ音場を集音することができるからです。**MK 22**「オープンカーディオイド」カプセルは、**MK 4**と**MK 21**の中間に位置し、ソリストのための完璧なサポート・マイクロフォンであり、**MK 4**の代替としても完璧に機能します。

MK 41は、上記カプセルと比べると若干指向性が鋭いスーパーカーディオイド・カプセルではありますが、ステージに不向きというわけではありません。このカプセルはとりわけオペラ制作用に人気があり、すばらしい音響を実現するため、天井から吊り下げることができますし、**BLC**マウンティングプレートに装着して使用することもできます。

SCHOEPSのマイクロフォンは、通常ステージ上では、洗練されたRCアクティブ・エクステンション・チューブにマウントされます。クラシック音楽やソリスト用マイクのフルセットアップといえば、例えば、MK 4カーディオイド・カプセル、RC 1200エクステンション・チューブ、STR 350サポートロッド、CMC 6またはCMC 1プリアンプとなります。

これに代わる選択肢として、マイクを天井から吊るし、正しい位置に目立たないように配置するのもよく使われる手法です。SCHOEPSは、天井取り付け用のアクセサリも多数用意しておりますが、例えば、小さなCCMマイクロフォンを簡単かつ柔軟に吊るす場合にはS170Lグースネックを使います。あるいは、HCミニチュアケーブルハガーを使用することもできます。

SCHOEPSは、立体音響、サラウンド音響、3Dオーディオに献身するさまざまな専門的製品はもちろんのこと、すぐれたテクニカルサポートも提供しています。SCHOEPS製品を使えば、XY、ORTFからABに至るあらゆる種類の2チャンネル録音技術を多くのバリエーションで実現することができます。コンパクトなMSTC 64は、ORTFマイクロフォンで、SCHOEPSの中で最も人気のあるライブステージ用マイクロフォンです。コンサートホールの5.1サラウンドにおいて最も人気のあるSCHOEPS製品は、OCT surround、Double MSセット、およびDecca treeアレイで、これらの製品は個別の複数のCCMマイクロフォンにて構成されます。また、SCHOEPSのCCMマイクロフォンは、3Dオーディオにも理想的にマッチし、例として、OCT-3Dアレイか、無指向性マイクのアレイを使います。

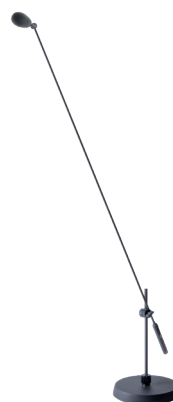
MSTC 64 U

No. 148003



RC SET „SINGER“

No. 133801



RC SET „VIOLIN“

No. 133802



RC

No. 13350_





映画 (FILM)

プロフェッショナルのための妥協なき品質

SCHOEPSのマイクロフォンは、映画業界において長年にわたり存在感を発揮してまいりました。要求の厳しいロケーションサウンドエンジニアにとって、すべての入射角において自然な音質はもとより、高い指向性やRF干渉を避けることは撮影現場において最も重要なことです。さらに、ブームポールにマウントされるマイクロフォンは、小さく、軽くあるべきで、振動から隔離され、風から守られなければなりません。

SCHOEPSのスーパーカーディオイドおよびショットガンマイクロフォン製品ラインは、ロケーションサウンドの国際標準としての地位を確立しており、ハリウッド、ロンドン、ベルリンなどの大きな映画制作現場で常に利用されています。

優れた指向性と自然な軸外音を誇る**SCHOEPS**のショットガンマイク**CMIT 5**と**MiniCMIT**は、この分野ではまさに規格外の飛び抜けた存在です。これらのマイクロフォンは、軸外音を強力に排除する一方、アッテネーション（減衰のカーブ）は常に安定しているため、音色が変化したり、突然サウンドレベルが落ちたりすることはありません。つまり左右から聞こえる会話の録音にも使えるということです。デジタルマイクの**SuperCMIT**は、拡散音をさらに抑制する機能を持ちます。このマイクは、難しい撮影状況を克服すべく業界の定番商品となっています。

MK 41および**CCM 41**のスーパーカーディオイド・マイクカプセルは、その高い指向性とあらゆる周波数帯域における一定した指向性パターンゆえ、しばしば室内撮影で使用され、自然な室内音とクリーンな声色を効果的に集音することができます。**CCM/MK 41**カプセルは、この特性ゆえ、室内撮影シーンにおいては、いかなるショットガンマイクロフォンより優れています。このことはあまり知られていませんが、まさにインサイダー情報といえます。

CCM 41スーパーカーディオイド（または**CMC 1 + MK41**）は最も過小評価されている製品です。たった**46mm**の長さではありますが、極めて難しいカメラアングルでも機能する唯一のマイクであるケースが多いと言えます。

CCM 41は、ミニチュア・エラスティック・サスペンションのMINIX (OSIX)とブームポールが素早い動きに対する不要なノイズを防ぐようデザインされたB 5 Dと併用すると、今日市販される最小のプロフェッショナル・ブームマイクとなります。

とりわけ要求の多い撮影現場で働く場合、たくさんの技術的リソースとアクセサリが必要であることは言うまでもありません。こうしたアクセサリは一筋縄ではいかない忙しい映画制作のワークフローに特化したものでなければなりません。マイクロフォンに加え、フィルター、マウント、ウィンドシールドがアクセサリとして含まれますが、これらはそれぞれのマイクロフォンに合うよう最適に設計されたものでなければなりません。

現場での音声は、不要なRF干渉を避けることが極めて重要です。そのために開発されたのが「SCHOEPS RFI Shield」であり、これはRF干渉に効果的であるわれわれ自身の厳しい基準です。SCHOEPSは、現在稼働しているすべての送信機の干渉レベルを継続的に測定し、比較しています。

またSCHOEPSは、MS録音に対する専門的なソリューションも提供しています。双方向特性で他の追随を許さないスタジオ放送品質を有するCCM 8マイクロフォン（またはCMC 1 + MK 8）は、CMIT 5やMiniCMIT、あるいはCCM 41（またはCMC 1 + MK 41）と相性がよく、同じウィンドシールド内で使用することができます。またDouble MSは、ドキュメンタリーやアンビエンスレコーディングのための可動型サラウンドサウンド・ソリューションを提供し、3つのマイクロフォンにマウントとウィンドシールドを組み合わせるだけで、さまざまなセットアップを可能にします。

MiniCMIT | CMIT 5

No. 140103 | No. 140101



CMC 1

No. 132011



SuperCMIT

No. 140301



CCM 41

No. 121017





スタジオ(STUDIO)

透明なSCHOEPSサウンド

スタジオ環境で使われるマイクロフォンには、透明な音に加えて、汎用性と柔軟性が重要な特性として求められます。これが**SCHOEPS**のモジュラー**Collette**シリーズと**V4**がこの分野で最も多く使われている理由です。**SCHOEPS**製品は、とりわけアコースティック楽器の録音用として地位を確立しています。スモール・ダイヤフラム・コンデンサーは、特にアコースティックギター、ボーカルを録音する際の音響特性で名声を得ています。また、ドラムオーバーヘッドとしても著名です。

コレットシリーズの**stereo sets**もスタジオで好評を博しており、オムニカーディオイド、オープンカーディオイド、ワイドカーディオイド、スーパーカーディオイド、フィギュアエイトで利用でき、取り替え可能なカプセルとして好まれています。

SCHOEPS MK Capsulesがアコースティック楽器の室内録音用のカプセルとして人気があるのは、他の多くのマイクロフォンに比べて、拡散音場（例えば、反射やリバーブ）の音色の変化がないからです。特にマイクロフォンが楽器の側近に設置されていない場合、部屋のアコースティック特性が最終的な音に大きな影響を与えてしまうことがあります。こうした場合、もちろんマイクロフォンはただ正面からだけでなく、すべての指向特性において良い音を出さなければならないという意味です。具体的に言いますと、全方向において周波数特性がリニアである場合、そのマイクロフォンには透明性があり、音色の変化がないと言うことができますが、この目標を達成することは驚くほど難しいことであり、これができることが**SCHOEPS**のマイクロフォンカプセルの特性なのです。

V4は、並外れたスタジオ用マイクロフォンです。このマイクロフォンは、スモールダイヤフラム・コンデンサーを使用した**50**年代のクラシックな**SCHOEPS**マイクロフォンをオマージュしたものであり、大小のダイヤフラム・コンデンサーマイクロフォンの良いところを兼ね備えたマイクロフォンなのです。

STEREO SET

No. 13900_



V4 USM SET

No. 142103



MK 4

No. 131015



MK 22

No. 131007



CMC 6

No. 132005



PR 120

No. 170601





会議, ラジオ, テレビ (CONFERENCE, RADIO & TV)

至高の優雅さと明瞭なスピーチのために

大手ラジオ局やテレビ局の多くが**SCHOEPS**のマイクロフォンを数十年にわたり使い続けていることは決して偶然ではありません。また**SCHOEPS**は会議の演壇やテーブル用としても好評を博しています。これは、周波数ごとに独立した指向性が不適切なノイズやフィードバックループを徹底的に防御し、優れた明瞭な音を産出するからです。ドライサウンドですばらしい音質のマイクロフォンは、携帯電話の干渉を防ぎ、会議テーブルの振動をうまく分断する堅牢性と同等に大切です。**SCHOEPS**のマイクロフォンがテレビカメラが入る際にこれほど多様されるのは、とりわけその控えめな優雅さのためです。

SCHOEPSの広範囲にそして多種に及ぶマイクロフォンスタンドとテーブルマウントは、さまざまな用途に対し、ユーザーの目的に合った解決策を提供します。

演壇用には、長く剛性のあるエクステンション・チューブがあれば大丈夫です。このエクステンション・チューブには微調整のために先端にマウントするボールジョイントあるいはグースネックもオプションとしてご用意しております。ただグースネックだけを使うよりこちらの方が美学的に優雅であり、また目立たないので、**RS**と**SRS**グースネック、また**RLG**エクステンション・チューブがこのカテゴリで人気のアクセサリです。

会議テーブルやテレビスタジオのデスクに卓上にマウントする場合、**TR KC**、**TSR**といった独立型統合テーブルスタンドがとりわけ人気があり、ミニチュア・テーブルスタンドの**TC**も人気商品です。しかしながら、**RL / RC**や**RC**チューブやグースネックをモジュール式に組み合わせテーブルスタンド**T 5**と併用してもこの用途にしっかり合致し、自由度が増します。

例えば授賞式などステージ上での使用に際し、よく知られた**RC**チューブに加え、完全に統合された**STV**や**STA**などのさまざまなマイクロフォン・スタンドを提供しています。

こうした分野での使用には、ポッププロテクションが求められます。しかしながら、音質を変えてしまうことはご法度です。そのために広く利用されているのが **B 5 D**や**B 1 D**です。

SCHOEPSのコンパクト・マイクロフォン**CCM**または**CMC 1**を会議、ラジオ、テレビに大変適しています。そのコンパクトなサイズと低RF感受性（例えば、携帯電話からのRF干渉）ゆえすばらしい能力を発揮します。**CCM**マイクロフォンと**MK**カプセルには「P」シリーズという近接効果を抑制するバージョンもご用意しております。マイクロフォンと講演者の距離が**10cm**以下という場合に推奨されます。

TR KC
No. 133518



MK 4
No. 131015



TSR L
No. 123514



CCM 4
No. 121015



B 5 D | B 1 D
No. 170108 | No. 170102



RS 420
No. 133507





スポーツ (SPORTS)

コンサートホールにいるような品質

SCHOEPSは長年にわたってさまざまな大きなスポーツイベントをサポートしてきましたし、これからもサポートしていきます。スポーツはおそらく録音機材に最高級の要求をつきつけるニッチな録音市場でしょう。この分野ではマイクロフォンはすべての能力を捧げなければなりません。複雑で不均一な音環境を正確に再現する能力、一瞬で配置できる簡便性、扱いの容易さ、あらゆる種類の風、天候、過酷な状況に確実に耐える耐久性、そして何よりも常にすばらしい音を届けなければなりません。さらに、マイクロフォンはいかなる事象そのもの、あるいは広告バナーを隠すことなく、可能な限り目立たないものでなければなりません。こうした要因が組み合わさっているからこそ、主催者、エンジニア、サービス提供会社、また製造メーカーにとってスポーツ報道は面白いのです。最近SCHOEPSは、スポーツ報道の音質を著しく向上させるマイクロフォンの配置に関するいくつかのブレークスルーを達成しました。

スポーツ報道にとって最も大切な信号は、実況放送のトラックであることが多いです。実況放送を明瞭に再現するには、周波数に依存しない指向特性を持つ専門的で高品質なスピーチマイクロフォンを使うしかありません。SCHOEPSは、この特定ニーズに対する解決策として、屋内放送ブース用にHSC 4VPヘッドセットを、またスタジアム内で直接行う実況放送用にHSC 4VXPを提供しています。スポーツイベントは通常ステレオかサラウンドか3Dオーディオで録音されます。これはリスナーに説得力のある没入感を与えるようにアンビエンスを捉えるためです。SCHOEPSはこの分野で本物のORTFセットを提供しています。これらのセットは、プラグ&プライで使える完成体という解決策として利用することができ、メジャーなスポーツイベントで定期的に使われています。「ORTF Stereo」は、2チャンネルステレオに最適です。一方、「ORTF Surround」と「ORTF-3D」はそれぞれ5.1サラウンドサウンドと3Dオーディオ向けに開発されたものです。

これらすべてのシステムはマルチケーブルや適切なウインドシールドまたはレインシールドと併用することができ、統合されたヒーター付きのものもあり、簡単かつ安心して配置することができます。SCHOEPSの信条は、最高の音質を最も簡単にお届けすることです。

スポーツ報道においては、さまざまなサポート信号をショットガンマイクロフォンで録音することが多いです。この目的のために推奨されるのがSCHOEPSのショットガンマイクロフォン**Super CMIT**で、音質に妥協することなく、最高の指向性を提供します。また、内蔵ローカットフィルターを持つ非常にコンパクトな**MiniCMIT**と小さなウインドシールドのコンビはこの仕事にぴったりです。

ORTF STEREO OUTDOOR SET

No. 174201



ORTF SURROUND OUTDOOR SET

No. 175204



MiniCMIT MONO WINDSHIELD SET

No. 178003



HSC 4VP

No. 149002





サラウンド & 3D (Surround & 3D)

完璧な空間サウンドへの道程

長年SCHOEPは、サラウンドと3Dオーディオに対する技術の開発と実現の最前線に立ってきました。こうしたアプリケーションには360度ビデオやVR用のサウンドも含まれます。

SCHOEPSは、ほとんどすべてのサラウンド録音技術に対するマイクロフォン配列を提案することができます。多くのサラウンドマイクロフォン配列は、SCHOEPSの標準マイクロフォンで構成することができます。サラウンドマイクロフォン配列のデザインは本質的に無限のバリエーションが存在します。

そして優れたアクセサリがマイクロフォンの力を最大限に引き上げますが、これは実戦上必要不可欠なことです。SCHOEPSは、サラウンドサウンドや3D録音に関する綿密で個別のアドバイスをじかに、あるいはビデオやアプリケーション記述を通して提供しています。

立体音響アプローチを用いる5.1サラウンドの音楽録音については、無指向性とカーディオイドのメインマイクロフォン技術を活用することをお勧めします。例えば、Decca Tree、Williams、OCT-Surroundあるいはその他「Image Assistant」で作成されたものです。これらの技術は、9.1や5.1.4のようなハイチャンネルのフォーマットを目的とした場合は、ハイチャンネル用のマイクロフォンを追加することにより改定できます。例えば、OCT-3Dに見られるような配置です。

Double MS技術は、映画撮影や音楽録音に最適です。この技術は非常に柔軟性がありコンパクトで、ポストプロセスが簡単です。

映画やスポーツイベントのためのアンビエンスレコーディングに特化したソリューションとして、すでに定評のあるセットアップであるSCHOEPS ORTFシリーズがあります。これらの技術を使えば、最小の波形歪みを可能な限り維持しながら、最適な信号分離を通して美しく開かれた空間イメージを実現できます。5.1サラウンド用には**ORTF Surround**、また3Dオーディオ用には**ORTF-3D**が使い、プラグ&プレイセットアップとしてウィンドシールドとマルチケーブルと一緒に利用できます。ORTF-3Dは、VRや360度ビデオ用のメインマイクロフォンとして理想的であることがすでに証明されています。

さらなる情報をお求めの方は、SCHOEPSのウェブサイト、Youtubeチャンネル、またSCHOEPS提供の資料をご参照ください。

DOUBLE MS WINDSHIELD SET CYCLONE

No. 175405



OCT SURROUND

No. 129004



ORTF SURROUND OUTDOOR SET

No. 175204



ORTF-3D OUTDOOR SET

No. 176201



概要

COLETTE (コレット)

モジュラーコレットシリーズのマイクロフォンは、プリアンプユニットとそのアンプにスクリュー式に取り付けるマイクロフォンカプセルで構成されます。すべての種類のカプセルがすべての種類のプリアンプに取り付け可能です。

必要に応じてカプセルとプリアンプの間にアクティブアクセサリーを挿入することもできます。特にRCアクティブエクステンション・チューブは、そのスタイリッシュな外観でこれまで多くの有名イベントを美しく飾ってきました。コレットシステムは、そのモジュラー性能ゆえ広範囲のアプリケーションにさまざまなオプションを提供しています。

コレットモジュラーシステムは、40年以上前に発表されました。それ以来ずっと自らの実力を幾度となく証明してきましたし、絶えず更新と拡張を続けてきました。今日の部品は最先端のエレクトロニクスと材料により製造されています。

SCHOEPSはコレットシリーズを維持するために全力を尽くしており、既存のユーザーに終わることのない継続的可能性を新商品で提供し続けています。

概してSCHOEPSは、信頼と持続可能性に立脚する顧客中心の製品を提供するという方針を追求しており、お客様にSCHOEPS製品をいたずらに何度も無理強いすることはいたしません。

すべてのコンデンサーマイクロフォンは少なくとも2つの部品の組み合わせで構成されています。つまり、カプセルとプリアンプです。カプセルにはダイアフラムが内蔵されておりますが、これは純粹に電子的構成要素のない機械的なトランスデューサ（変換器）で、音波を電気信号に変換します。カプセルは指向特性と音響特性の点でマイクロフォンを決定する要因となります。つまり、マイクロフォンカプセルの周波数特性は、ひとえにその機械的性能によって決まり、機械的なフィルタリングが決めるものではないのです。

カプセルが初期信号の扱いに責任を負う一方、カプセルに分極電圧を供給するのはプリアンプ回路であり、その信号を低インピーダンス信号に変換してバランスを取ることで使用可能にします。また、プリアンプは無線送信機による不要な信号やマイクロフォン・ケーブル経由の電流などのRF干渉を抑制する責任を持ちます。



KAPSELN COLETTE



MK 2, 2H, 2S, 2XS



MK 21, 22



MK 4, 4P, 4XP, 4V, 4VP



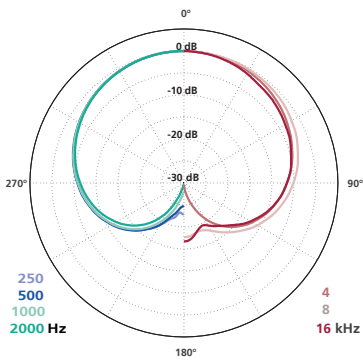
MK 41, 41V



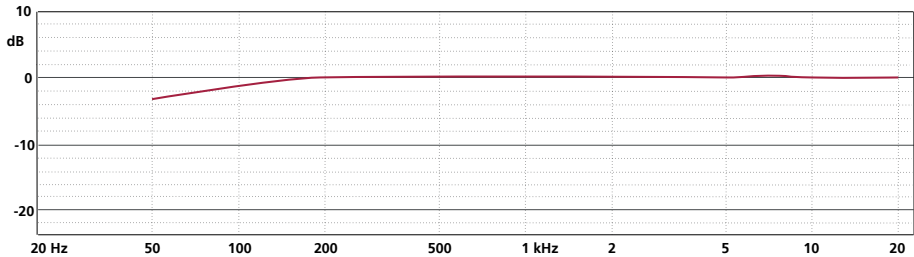
MK 8



MK 5



polar pattern MK 4



frequency response MK 4

概要

CCM

CCMシリーズは、コンパクトなスタジオマイクロフォンです。マイクロフォンカプセルと小型エレクトロニクスが46 mm長というコンパクトなハウジングに内蔵されています。

CCMシリーズのマイクロフォンは、品質の点でコレットシリーズのマイクロフォンと全く同一です。実際のところ、どちらのカプセルも同一であり、どちらのエレクトロニクスも同一の仕様と性能を持ちます。

CCMシリーズは、ブームポール用、会議施設用、マルチチャンネルのセットアップ用などサイズが小さいことが決定的な役割を果たす場面に特に適しています。

CCM-Lバージョンは、可能な限りコンパクトでなければならないため、XLRプラグではなくわずか直径8 mmのLemoソケットを採用しています。XLR-3Mに接続される5 mのアダプターケーブルが同梱されます。

別の選択肢として、初めから固定ケーブルが付いたバージョン（CCM-U）もあり、XLR-3で終端処理されています。このバージョンは、主として会議用など固定設置用として使われています。Uバージョンは、ケーブルの代わりにグースネックやエクステンション・チューブを装着して出荷することもできます。マイクロフォン自体は取り外すことはできませんが、目立たないセッティングが可能です。



CCM U variant

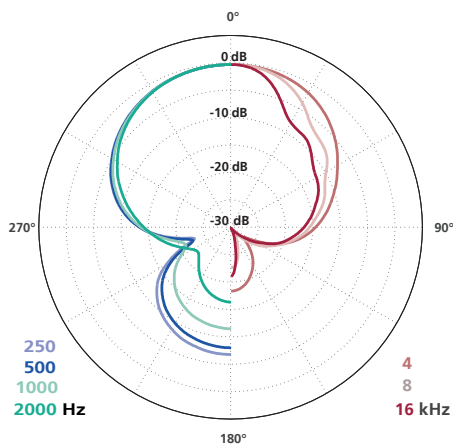


SCHOEPSのショットガンマイクロフォンは、一流の映画制作に採用されています。そのたぐいまれな高い音質により世界中で賞賛されています。

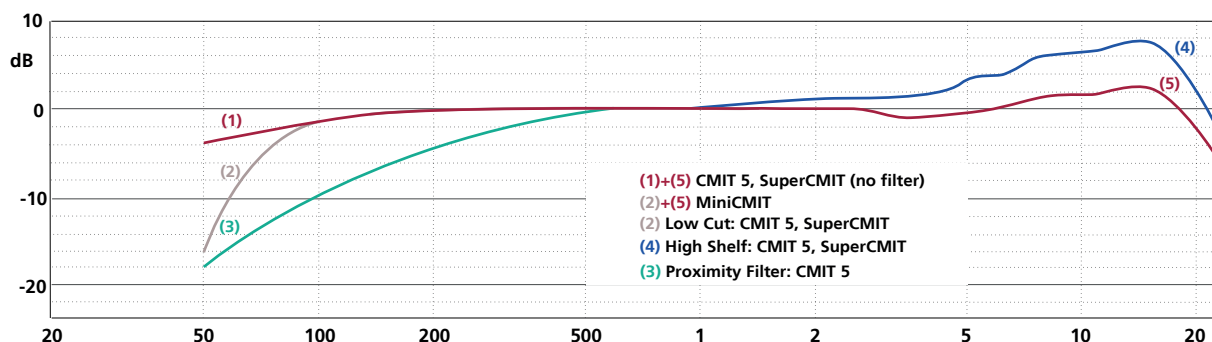
CMITシリーズには、3種類のマイクロフォンがあります。

- CMIT 5は、2005年に発表されたものですが、このクラスのマイクロフォンでは、今なお業界標準となっています。
- MiniCMITは、最もコンパクトなマイクロフォンです。
- SuperCMITは、デジタルアルゴリズムにより、周波数帯域の全域において最高レベルの指向性を実現します。

これらすべてのSCHOEPS CMITマイクロフォンは、同じ前向きカプセルと干渉チューブで構成されており、そのたぐいまれな高い音質で賞賛されています。CMITシリーズのカプセルとマイクプリアンプは分離することはできません。



MiniCMIT, CMIT 5, SuperCMIT (ch2)





Schalltechnik Dr.-Ing.
SCHOEPS GmbH

Spitalstr. 20
76227 Karlsruhe
Germany

+49 721 943 20-0
info@schoeps.de

www.schoeps.de



日本テックトラスト株式会社

〒150-0062 東京都渋谷区元代々木町30-13 ONEST元代々木スクエア1階
TEL: 03-6407-0493 FAX: 03-6369-4465
E-MAIL: sales@tech-trust.co.jp URL: <http://www.tech-trust.co.jp>



日本テックトラスト大阪株式会社

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-17-19-1215
TEL: 06-7505-5827 FAX: 06-7635-5107
E-MAIL: hikato@tech-trust-osaka.com